

# ぶな

2020年8月号

NO. 497



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

## 巻頭言

映画館にいる時間が好きです。空いてるほうが気楽ですが「密を避けて」の指導がある今は観客が本当に少ない。『イーディ 83 歳初めての山登り』を観たときは私のほかに三名。コロナ対策的には万全ですが、大丈夫か映画館。さて、映画の内容ですがタイトル通り、実話に基づく高齢女性の初登山物語。長年の介護で夫を看取り後、古い写真を見て「そうだ、この山に登ろう」と決意するイーディ、屋根裏から引っ張り出したザックに年代物の山道具を詰めて夜行列車に乗ります。出発にあたり娘に残したメモには「しばらく留守にします」のみ！（母に同じ事されたら血圧 Max↑）。ふもとの村逗留で登山ガイドや道具や体力など諸々の準備が、幸運とお金と努力で整ったイーディ。なんと本番当日登山口でまさかのガイド解雇(初登山で単独テント泊決行！やばい系 83 歳！)、本人喜々として出発するも単純ミス連続。手漕ぎボートのオールは失すし（無事対岸着の強運！）、嵐の中でテントを飛ばされるし（高齢・細身・ずぶ濡れのイーディ、低体温ピンチ！）。それでも重なり続ける幸運で翌日には山頂直下到達（インディジョーンズ級）。見上げれば先はザレ場の急斜面、荷物は捨て置き(水くらいは持ったほうが～)空身で言うように登り始めるも山頂目前疲れて寝落ち。ここに解雇されたガイドが現れて(実話か?)山頂に導く。山頂に立つイーディ、めでたし！のエンディングなのですが、私の心配つっこみが止まらない(疲労困憊の山頂から自力の下山は可能だったのか？へり？自宅に戻ったとき娘とはどうなった？)。そんなこんなで館内明るくなった時には「ふ～っ」とため息・ついたら笑えました。山頂からの映像は美しかったです。スコットランドのスイルベーン山、標高 731m。私も登りに行けるかも♪早速ふもとの村を検索してみると「現在、コロナのため小屋は営業していません」。現実に戻りました。そして思いました。やっぱ映画はいいなあ、映画館はいいなあ。車で気楽に行ける近場の映画館は貴重、コロナ危機を乗り切ってくれますように。さて、県連ニュース 7 月号『ぐうたら会長のつぶやき』にこの映画のことが書かれていました。人によって感じ方違います、一回目と二回目も違います。県内での上映はもう終わっているのですが、この映画をみんなで観に行って、そのあとに美味しい(かどうか知らない)スコットランドビールを飲みながら、あーだこーだと「密」を恐れない宴会に興じる・なんて思うのは自由？そんな環境が戻ってきますように。

K 林 T 子

## 掲載内容

巻頭言

例会案内シャクシコバの頭・コヤマノ岳

例会案内（9月）音羽山

山行報告6月の山行

例会報告比良・比叡トレイル①

寄稿エッセイ

寄稿山との出会い

寄稿山の豆知識あれこれ

寄稿10代最後の南アルプス山行

表紙写真

初夏を告げる琵琶湖畔のカワラナデシコ撮影 Y本H雄

## <例会山行案内>

### ちょこっと山行

#### 比良山系シャクシコバの頭(1127m)・コヤマノ岳(1181m)

7月に中止になりましたが、再挑戦です。シャクコバの頭へは、中峠と大橋の分岐近くから東の尾根(登山道でない)を行います。暑い時期なので、朝早く出て昼過ぎに戻ります。ぶなの緑を楽しみましょう。

#### 8月8日(土)7:00イン谷トイレ前駐車場集合

☆比良駅への迎えが必要な方はお知らせください。調整します。

#### <コース>

イン谷 7:00～金糞峠～シャクシコバの頭～中峠～コヤマノ岳(昼)～金糞峠～  
イン谷 13:40

レベル体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

#### 持ち物水

昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、マスク、除菌グッズ、スリング、カラビナ、その他日帰り装備

申込先 K藤まで

締め切り 8月2日(日)

☆新型コロナ感染症予防のため、以下の通りご協力お願いします。

- ・車の乗り合わせは、最低限にし三密を避けて下さい。
- ・熱中症予防のためマスク無しで構いませんが、前後の間を充分開けて歩いて下さい。
- ・咳やくしゃみは控えめに。
- ・休憩中は、特に気を付け、離れておしゃべりしましょう。
- ・こまめに手指の除菌をしましょう。・食べ物の共有は、お控えください。

## 〈例会山行案内〉

### 音羽山(593m)破線ルート

大津市中南部に横たわる音羽山に登ります。

やや低山なので真夏を避けました。音羽山は近郊なので皆様何度か登られているかもしれませんが、今回は登り下りともあまり歩かれていないバリエーションルートに近い登山道を歩くつもりです。登山口から少して倒木だらけの道がしばらく続きそれを過ぎると急登になります。下りに使う道は途中から沢筋なので渡渉もあります。全般にややわかりにくい道ですが目印は所々あります。

日時：2020年9月6日（日）

集合：JR山科駅前広場午前9時15分（湖西線山科9:13着があります）

行程：京阪山科駅～京阪追分駅～登山口～5合目～八大龍王～音羽山9:26(¥170)9:299:40～11:50（昼食）音羽山（東海自然歩道経由）分岐右折～脇道へ入る～左股右股分岐～12:30東海自然歩道への分岐～登山口～逢坂の関～京阪大谷駅～京阪山科駅14:0014:20（¥170）

レベル体力★★☆☆☆技術★★☆☆☆～★★★★☆☆

距離約8km約4.5時間（昼食休憩を含む）

持ち物日帰り装備一式

（昼食・飲み物・雨具・地図・磁石・（ヘッドランプ・マスク・自分用の薬品類など）

担当 N尾

締め切り8月31日（月）

雨天中止中止する場合は前日に連絡します。

★★コロナウイルス感染には各自で十分注意をして下さい★★

## 6月の山行

H池

例年6月は、県連行事（全国の労山行事）清掃登山があります。雪稜会は毎年、江若バス、びわ湖バレイの協力を得て、会員外の参加者も多く、さすがの組織力、人脈やと感心して参加させてもらっていました。今年はコロナで秋に延期、どんな形でならできののかなと思っています。行政や企業の協力を募る、大人数でたくさんごみを拾う、大勢の人に山の環境問題について呼び掛ける...とか今は難しい事ばかり。それで、とりあえず6月は「ごみ拾っとこ」と思いました。今の状況でも、個人が山の環境問題について考えたり、できたりすることはあるし、個人レベルだからこそ自由にちゃっちゃとできるやんって思います。6月に行った個人山行は比良、リトル比良。地元ばかりを5回ほど、「勝手に清掃登山」しました。個人といっても一緒に行った方が多く参加してくださり、例年の清掃登山の積み重ねが生きていました。この他に登山の基本を支えてくださっている山小屋の存続危機についても個人として、団体としても考えていきたいと思っています。



## 《例会報告》比良比叡トレイル（1）

### （大比叡～宮メズラ）

日時 2020年7月19日（日）はれ時々曇り

参加者 CLK原 SLK藤 SLN尾 F野 N田 I井（記） S井  
Y口 S内 N野 K井 N井 S藤 I村

行程 JR比叡山坂本（7：25）～坂本ケーブル駅（7：50）＝ケーブル延暦寺  
駅（8：20）～大比叡(848m)(9:00)～玉体杉（9：45）～横高山(767m)(10:50)  
～水井山(794m)(11:20)～仰木峠（11:55）～昼食（12:30）～  
大尾山(681m)(13:35)～伊香立峠（15:00）～魚の子山（16：20）～  
宮メズラ山（16：35）～還来神社（17：30）

当初の予定は徒歩にて比叡山頂まで行く予定であったが、参加人数が多く、時間短縮のため、ケーブルを利用することとなった。JR比叡山坂本駅を7：25に出発、ケーブル駅まで舗装路を歩く。すでにこれだけで汗がどっと出る。坂本駅から8時始発のケーブルに乗る。ケーブル延暦寺駅で再集合、ミーティング。2班に分けて出発。参詣道を外れて左手の階段を上がる。しばらく登るとドライブウェイに出会う。ここを横断してお墓の横を通ってさらに登る。智証大師墓にて休憩（8：45）。さらに登ると阿弥陀堂から上がってくる道と出会う。ここからピストンで大比叡へ。ピストンなのでザックを置いていく。大比叡到着。写真を撮る。ピストン出合まで戻り阿弥陀堂から参詣道に出る。参詣道の詰め所に挨拶をして、ドライブウェイをまたいで、滑りやすい階段を下り、西塔本堂にてトイレ休憩（9：40）。ここからなだらかなアップダウンを経て玉体杉に着く。千日回峰行の苦労思いながらはるか御所を眺める。玉体杉から少し行って一登りすると横高山に着く（10：50）。さらにここをぐんと下って登り返すと水井山に着く（11：15）。ここを一気に下り仰木峠へ（11：56）。ここを少し上がったところで昼食（12：05～12：30）。好天で眺めよし。昼食後、急登を登り小野山へ（670m）。もう周りを見る気力なくひたすら歩く。やっとならぬ大尾山へ（13：35）。これよりなだらかなアップダウンを経てP630通過。伊香立峠着。

ここでリタイアしたい1名と足をくじいて歩きにくい人とそれに付き添う人2名、それに私で計5名がみなと別れて伊香立上在地に下る。途中離脱は好まし

くないのですが、リーダに無理を言って許しをもらいました。離脱組は16時頃上在地集落に着きタクシーでJR 堅田駅に16:20頃到着。今回の歩行は、雨水をたっぷり吸った登山道歩きで、滑りやすいところがあまたあり、かなり神経を使う歩きでした。(I井記)

伊香立峠から下山される5名を見送り雨で緩んだ急登斜面を魚ノ子山目指し進む。ここにきてかなり足にきている感じがする。そしていくつかのアップダウンを経て魚の子山(552m)に着く、「あー長かった」と声があがる。山頂は展望がなく平で山頂の感じがしない。しかし山で魚の子とは変な名前と思う。ここまで来たら比叡山地の最北端に位置する縦走終点の宮メズラまであと15分の行程となる。宮メズラ山頂は倒木の中にあり宮メズラの小さな名札が無ければ分からないような場所となっていた。「やったー、おつかれ」の握手もできないまま、タクシーを待たせているため早々の下山、しかし下山ルートは今日最大の難所でロープのある滑りやすい急坂や踏み跡の薄いルートで迷いやすい急坂となっていて、一度下山ルートを外れ迷うこともあった。還来神社には予定の30分遅れで無事下山できた。先に下山した5名からは堅田駅に無事に着いたとの一報も一時間前に入っている。そしてここで解散となってタクシー4台に分乗し帰路につく。皆様大変お疲れ様でした。(大尾山にて)





## ステイ・ホームの功と罪

### - 新たな楽しみの発見 -

コロナ禍の中で皆さん如何お過ごしでしょうか。昨年未までインバウンド関連の仕事で忙しく「年が明けたら山に出かけたいな」と思っていた矢先、コロナ問題で仕事も激減、ステイ・ホームを余儀なくされました。この間、ネットで「クックパッド」のレシピなどを参考に慣れないイタリアンなどの料理や菓子作りなどにも挑戦してみましたが、思いのほか見栄えや味も良くて、しかも安価にできたので思わず悦に入ってしまった。また、読書にもたっぷり時間をとることができました。最近ベストセラーになった「還暦からの底力」という本が気になって読んでみたのですが「人生 100 年時代の還暦は折り返し地点にすぎない。むしろ折り返してからのほうが冒険やチャレンジはしやすい」といったことが述べられていて元気の出る内容でした。大学の学長で実業家でもある著者の出口治明さんは歴史にも造詣が深く世界的な観点から日本の歴史についても記述されています。そういった本を読んでいる時、たまたま日本の戦国史を当時の世界の動きから解説した「NHK スペシャル」を視てちょっとした感動を覚えてしまいました。少し詳細になりますが、以下のような内容であったかと思えます。一当時の世界ではグローバルな経済が発展し銀が貨幣として流通するようになってきていた。日本では鉱山の開発が進み、実に世界の3分の1の銀を産出するようになっていた。無敵艦隊を誇ったスペインと少し遅れて大航海時代に入ったオランダは銀を求めて日本にやってくる。日本との交易を目論み豊臣と徳川の対立に乗じてスペインは豊臣にオランダは徳川に味方をして銀の入手を画策していた。オランダは徳川方に銀と引換に当時最新鋭だったカノン砲を提供し大坂の陣においてスペインが加担する豊臣方に勝利した。その後、太平の世になると行き場を失くした武士がオランダの傭兵として東南アジア諸国に赴き戦国時代の合戦で培われた戦闘力でスペインとの覇権争いをめぐるオランダの勝利に貢献した云々。今日、オランダなどでは戦国時代に宣教師が持ち帰った当時の日本に関する史料などの解明が進んできていて隠れていた史実などが次々に明らかになってきているようです。私は近代化以前の日本は世界の国々や地域との関わりをほとんど持っていなかったのだろうと勝手に思いこんでいたのですが意外にグローバルに交流をしていたのだということを知って認識を新たにしました。ドラマのように展開する歴史観に新たな楽しみを見つけた感じです。社会もようやく動き出してきました。読書などを通じて知りえた史実や人々の営みなどを思い起こし、山歩きや旅を通じて彼の地や人を訪ね、また新たな発見ができることを楽しみに日々の活力にしていきたいと思っています。

## 山との出会いその1

小学校のころ、よく父に連れられて立木さんに登りました。正式には立木観音（立木山安養寺）。父は大正生まれの頑固一徹のかみなり親父。仕事一途で帰りも遅く、これ以外あまり一緒に何かをしたという記憶はありません。さほど信仰心があったとは思えませんが、月参りと称して毎月のように行っていました。階段から登ることも多かったのですが、南郷から山道を登っていくこともあり、途中で川遊びをしたり、カニをつかんだり、おにぎりをほおぼったり・・・と結構楽しかった記憶があります。あのころは平気で走ったりしながら競争で上り下りしてたなあ・・・。山とは言えないかもしれないけれど、今考えると、これが原点かもしれませぬ。ちなみに父は晩年、愛宕さんにもよく登っていたようです。

## 山との出会いその2

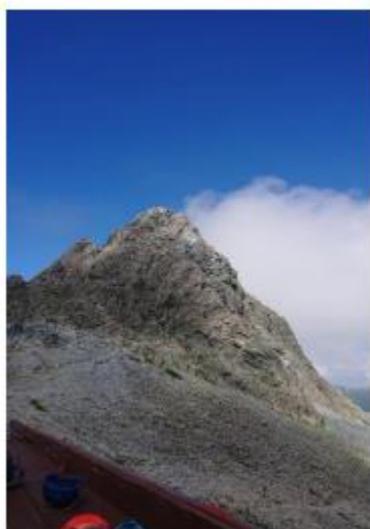
結婚して子ども達が幼稚園や小学校になると、オートキャンプに良く出かけました。今はもう出来ませんが伊吹山の三合目でも2回テントを張りました。夜中に懐中電灯を持ってご来光を見るために夜間ハイク。今思うと普通の靴で、普通の服で何の装備も持たず、子ども達も良く登ったなあ・・・と思います。暗くて見えないことも幸いして、それほど苦もなく登頂、山小屋でしばし仮眠して見た御来光に感激！「山っていいなあ・・・」を感じた瞬間でした。もちろん山小屋で食べたラーメンも絶品！！

## 山との出会いその3

そして同級生との出会い。「小学校の同窓会をしよう」とたまたま集まった場でK嶋君が熱く語った山の魅力。アルコールが入っていたことも加わり「なんて素敵!!」とみんな、その語りに心がグラグラ動きました。「一回連れてってや」「行くんやったら、やっぱり日本一の富士山やろ!」「それやったら歩く練習から始めなアカんで」と音羽山登山から始まりました。同級生山部の結成です。K嶋君を隊長として「何持って行くの?」「どこで買うの?」いざ登り始めたら「もうアカン。ちょっと休憩」「心、折れる～」わがまま言いたい放題の個性豊かなメンバーを引き連れて、金勝アルプスや三上山、伊吹山・・・K嶋隊長、ありがとう。そしてあこがれの富士山初登頂。天気にも恵まれ御来光を拝んでウルウル・・・おまけに「影富士」まで見られて感激！山にすっかりはまってしまいました。

「今度はどこ?」「そら、槍やろ、かっこええやん」力量はともかく無謀にも、次々に行きたい山が出てきます。次の年の槍ヶ岳は雨のスタート。天気が回復し、さっとガスが晴れて見えた槍の雄姿に、またウルウル。登れた達成感に「やった〜!!」槍の横から登るご来光にまたまた感激してウルウル。「今度は縦走がしたい」と9月には常念岳～蝶ヶ岳縦走。胸突き八丁を越えて登りきったら赤い屋根の常念小屋の後ろには、またまたかっこいい槍の姿。ここでも“ウルウル”ポイントです。一ヶ月前に登った槍ヶ岳がこちらから見られるなんて、なんだかとても不思議な気分。次の日もずっと槍の雄姿に応援してもらいながら、がんばることが出来ました。槍だけではなく、穂高の山々がずっと見守ってくれているようで感動してまたウルウル……。どうやら“ウルウル”がより山の魅力にはまっていく秘訣のようです。4人で始まった山部も少しずつメンバーが増え、比良雪稜会にも入会させていただいて現在に至ります。「足を鍛えなくっちゃ……」とちよっぴりランをはじめて大会に出たり、みんなで買い物ツアーに行ったり。一緒に行動して同じ感動を味わってきたことで、より絆が深まってきています。コロナ禍でいろいろ難しくなっていますが「ルールを守りながら安全に楽しく登りたい」と、この夏はテントをかついでの登山に挑戦しようと思っています。まだまだ経験も技術も未熟者。皆さんにいろいろなことを教えていただきながら、これからもいっぱい“ウルウル”を体験できるようにと願っています。

S水



## 山歩き豆知識あれこれ



### おにぎり

\* ググって知ったノウハウですが！

気温の低い季節に、お手製のおにぎりを食べる時、ご飯が固くごわごわしていて食べにくい思いをされたことは、ありませんか？私は、雪が降っている中で、ぼそぼそと固いおにぎりを食べ、まあ、おいしくないなあ、と感じたことが少なからずあります。

ですが、コンビニで買うおにぎりは、冷たくても食べやすく美味しいです。

なぜか？

それは、お米を炊くときに油を入れて炊いているからだそうです。

お米2合にサラダ油(オリーブ油) 小さじ1

私も実際にやってみましたが、本当に固くなく、美味しかったです！

冬山はパンをよく持っていますが、一度お試しあれ！

長時間の歩行に。

\* 登山の達人から教えてもらいました。

足の裏にテーピングテープを張る。

「縦にバツッと3本貼ると、歩行後の疲れがマシ」

との助言を受け、私は、靴ずれしそうな部位、足裏ほぼ全面に貼っています。

貼らないとやはり、靴擦れするし、足裏の疲れも全然違います。

(100均で売ってる巾25mm~伸縮タイプがGood！)

こんな感じ！



By S・M

## 寄稿文

### 10代最後の南アルプス山行

10代最後の夏山は3泊4日・白鳳三山と決め甲府へとでかけました。夏山と言ってもやっと休暇の取れた9月中旬です。甲府というところは京都からはとても遠いということを実感しました。甲府駅から芦安鉱泉行の一番バスに乗るためにコンコースで夜明かしします。当時の駅は24時間開放されていておおらかな時代でした。駅で楽器を抱えて明日の一番電車を待っていた清里へ向かうというバンドの連中と内容は忘れましたが夜通し話をしていました。先にゆく彼らと別れバスに乗ると小一時間で芦安鉱泉です。ここからは団体の会員制バスではなく北岳登山口の広河原までは約20kmの林道歩きです。少々ウンザリしながら歩き出します。一時間少々で夜叉神トンネルに辿り着きましたがトンネル出口からは大量の水が分厚くとうとうと流れ出ています。トンネルの通過は諦め夜叉神峠を越えようと歩き始めたとき荷台に工事作業員を載せたトラックが停まり、行く先を尋ねられ工事関係者以外は乗れないトラックの荷台にトンネル部分だけ載せて貰えることになりました。夜叉神、観音経と2つの長いトンネルをで通り過ぎたところで荷台から降り歩き出します。ここからはあと約12km程です。トンネル付近まではガスっていましたがすっかり晴れ渡り日差しが強い林道を歩きます。それにしても断崖絶壁とは此の事だろうと思うような凄まじい風景です。よくこんなところに道を付けたものだと思いつつ未舗装の林道をテクテク歩いていました。目の前に白鳳三山がそびえる鷲ノ住山取付点で早めの昼食を取ります。その時広場の片隅にあった石碑の印象的な文章に目が釘付けになりました。黙し偲ばむ雲のかげありありとゆく白鳳の谷ここにいま十二の御魂愛くねむれるこの道に捧げしいのち山と水相合うところほろほろと馬酔木花散り息づける自然の奥処拓きたり十年をかけて噫せまり聳つ山の連なり霧に湧く落葉松の群日は高く谷をわたりて静かなる（原文のままです）

そうです。この林道は10年の歳月と12人の犠牲のもとに完成しました。裏面にはその方たちの名前、年齢、出身地、事故の日時が刻み込まれています。皆私と同年齢の若者達です。胸が熱くなりパンを噛むのも忘れてしばらく佇んでいました。手を合わせ感謝して通ることを誓います。それから道の遠さも気にならず、銀色に眩しく輝く野呂川鉄橋を渡り、草すべりの急登も一気に越え、夕焼けの小太郎尾根を北岳小屋に向かいます。翌日ご来光の山頂から伊那谷まで届く北岳の大きな三角錐の山影を見ることができました。3000mの天空稜

線を辿り大門沢までの予定でしたが立ち寄って話し込んだ農鳥小屋で泊まります。親爺さんによると9月に入って初めての登山者らしい。夜食は干しうどんを戻したほうとう鍋です。親爺さんがわざわざ大井川源流へ降りて釣ってきてくれたイワナを酒の肴にすっかりごちそうになりました。翌日お礼を言って小屋を後にし目の前の西農鳥岳の急登を終えふと振り返ると小さくなったご夫婦が並んで手を振っています。思わず両手を大きく振って「ありがとう」と言いましたが聞こえてないだろうなあ。東農鳥岳では子供に諭すように「お天気は明日までだ。明日中に降りるんだぞ」と言っていた親爺さんの声や、楽しそうに夜食を作ってくれた奥さんの顔を思い出し、朝食代わりにと持たせてくれたおにぎりを頬張ります。遠くまでよく見える澄み切った空と一人きりで音のない静かな山頂でした。ゆったりと時が流れてゆきます。なんだか嬉しくて目頭が熱くなります。奈良田からのおんぼろバスはガタガタの悪路にタイヤが裂けて1時間以上遅れました。身延からの電車ではおばさんと同席になりいろいろ話をしましたが富士駅で反対方向へゆくその方が夜食にと駅弁を買ってくれました。その方は自分の息子と私が同年齢で京都の大学にいること、一人旅が好きな息子がどこかで誰かに親切にして貰っている事だろう、だから私も誰かに親切にしたい、受け取ってね。ということでした。有り難く頂戴することにしました。ゴトゴトと京都に向かう夜汽車の中でイワナやおにぎりや駅弁に込められた人の温かい思いを噛み締めました。(何十年も後に鑑賞した「千と千尋の神隠し」で千尋がハクからおにぎりを貰い食べながら泣き出すシーンで年甲斐もなく泣きそうになりました。)出かける前は「10代最後の思い出の山行になればいいな」くらいに思っていたのですが林道の慰霊碑や色々な人に出会い幾度も胸が熱くなり生涯忘れることのない登山行となりました。長い間単独行をして来ましたが今思うと見ず知らずの人との出会いと別れを求めて出かけていたのかもしれない。

編集 CL